

銀の鈴

第128号

発行所

公益社団法人 箕面市シルバー人材センター
会報編集委員会
〒562-0015 箕面市稲1丁目11番2号
電話 072-723-8077
<https://minoh-silver.jp/>

あけましておめでとうございます



『コロナ禍で迎える新年前の瀧安寺辨財天』(2019年12月31日 住田会員撮影)

目次

新年あいさつ	2
福祉有償運送事業	4
ふれあい農園事業	5
子どもの一時預かり事業	6
労働者派遣事業	7
受託事業(気軽にサポート隊 ・パソコン指導)	8
事務局について	9
同好会の紹介	10
女性会、会員互助会イベント・ 会員自慢話	11
	12

昨年は、新型コロナウイルスの感染が世界中で猛威をふるい、これまでの日常生活が一変してしまいました。当センターのイベント等に関しても、次々に中止となり、楽しみにされていた会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

引き続き、このコロナ禍の状況が続くような状況の中で、体調をしっかりと整えて気持ちだけは新型コロナウイルスに負けないよう役職員一同、今年もがんばっていききたいと思っています。

会員の皆様におかれましては、体調管理に気を付けていただきながら、今年はシルバーパワーを発揮していただく一年となりますよう、ご協力をお願い致します。

ご挨拶



理事長
黒山 伊佐夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、箕面市シルバー人材センターの事業運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和2年度当初から、新型コロナウイルスが日本中に蔓延し、日常の生活様式も大きく変えなければならぬ状況になり、当センター会員の皆様におかれましては3密防止の徹底に取り組んでいただいておりますが、12月現在で3名の陽性者が報告されました。

今後とも、3密を避け、マスク着用や手指消毒の徹底を今まで以上に意識して取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。

当センターは、シルバー人材センターの基本理念のもと、「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「社会貢献」のそれぞれの分野において内容の充実を図り、センターの魅力と信頼を得るため、受託事業、訪問介護事業、介護予防・日常生活支援事業のさらなる拡大を図るとともに子供の一時預かり事業やふれあい農園体験事業などの当センター独自事業を積極的に展開してまいります。



また、オレンジゆずるタクシーについても多くの市民の皆様から好評をいただいております、これからも安全かつ確実な運行に努めてまいります。

さらには、厚生労働省が示しているシルバー人材センター適正就業に関する基準に基づき、就業する会員の適正な就業の確保について徹底を図ってまいります。

結びに、会員の皆様がシルバー人材センター事業を通じて、生涯現役の気持ちを持って今後ますますご活躍されますことをご期待申し上げます。令和3年の新春にあたり、関係各位をはじめ、会員の皆様のますますのご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げます。



理事長	黒山伊佐夫
副理事長	宮沢 良一
常務理事	平野 秀之
理事	岸本 勝久
理事	上田由紀子
理事	高木 善弘
理事	桑井 宏泰
理事	植木 秀隆
理事	前田 政輝
理事	中川 建治
理事	山崎咲由美
理事	福元 彰
理事	西村 和久
理事	岡田 慎悟
理事	岡本 典子
理事	永井喜代子
監事	阪口 嘉信
監事	齋藤 堅造

ご挨拶



会員互助会会長
岸 本 勝 久

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、令和3年の新春を健やかにお迎えに出来ましたこととお慶び申し上げます。

会員互助会は、皆様方の温かいご支援・ご協力のおかげで、互助会の活動が円滑に行われておりますことに心から感謝申し上げます。

令和2年の新語・流行語大賞が「3密」となったことに代表されるように、昨年は、「緊急事態宣言」が発令されるなど、従来の生活様式が激変した一年でもありました。さらに、新型コロナウイルス感染症が収束する気配どころか、さらなる感染拡大が懸念されているところでもあります。

会員互助会のイベントにつきましても、「互助会のつどい」をはじめ、「ゴルフコンペ」、「カラオケ大会」の開催中止、さらに同好会活動の一時休止など、思うような活動が実施できていない状況にあります。

そのような中で、会員互助会としましては、令和2年度の総会記念品として「マスク」の配布、第5次中期計画の策定に向けての会員意向調査の実施の際には、「マスクケース」を会員の皆様

にささやかではございますが、お渡しさせていただきます。

会員互助会では、コロナ禍において、また、コロナ後において、どのような活動を進めていくべきかを模索していかねばならないと考えております。従来と同様のイベントの開催は難しいかもしれませんが、会員相互の親睦を深めることができ、さらに福利厚生の実現を図ることができるように取り組んでまいりたいと思います。

新年を迎え、会員互助会役員一同、会員互助会のさらなる発展のため、新たな気持ちで邁進していく覚悟でおります。そのためには、会員の皆様のご支援・ご協力がなくては実現できるものではありません。一層の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。



監査	監査	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	庶務会計	副会長	副会長	会長
進村 和江	阪口 嘉信	永井喜代子	野々村 久	西村 和久	岡 富士夫	島 田 基	若山 雅教	鶴崎 邦夫	茂幾 義春	国塩 城作	藤田 圭子	丸山 征一	福田 正幸	加部 登	岸本 勝久

各事業の紹介

箕面市シルバー人材センターで、現在受注している仕事の一部を紹介いたします。
実際に就業されている方それぞれにお話を聞かせてもらいました。

『福祉有償運送事業』オレンジゆずるタクシー』

『福祉有償運送事業』オレンジゆずるタクシーは、箕面市が実施

する「移動困難者支援の社会実験」における福祉輸送利用促進モデル事業として、7年前にスタートしました。車いすでも乗り降りしやすいスロープ付きの専用福祉車両を使用し、要介護者等で公共交通機関の利用が困難な方に対する有償の送迎サービス及び市内在住の重度障害児の学校送迎を一本化して実施しています。運行時間は、午前7時から午後6時までの間で、利用する際は発着地のいずれかが箕面市内であること。また、利用いただける方については、要支援・介護認定を受けている方、障がい者手帳をお持ちの方、車いすを利用されている方など公共交通機関の利用が困難な方となっております。

今回、実際に運転手として就業している3名の方にそれぞれお話を聞きました。



『オレンジゆずるタクシーに就業して』

3度目の退職を迎え、これからは「することが楽しい」と思えることをしたいと考えていました。広報で、オレンジゆずるタクシーを知り、車大好き人間の小生は、即応募しました。事業開始から、沢山の利用がありました。箕面の住民とはいえ、大半単身赴任で十分な土地勘もなく同じような地名に驚いたり、ナビに不慣れで日没後の目的地到着に時間がかかったり、事業開始当初は「安全・丁寧」な搬送を心がけるのが精一杯で冷汗の日々でした。

あれから6年、「早く、安全に送迎する」ための知識や技量の習得に努めました。利用者からの「ありがとう!」の言葉や表情をいただいた時、「まだ役に立つことができる」と実感できる瞬間です。楽しい仕事、社会貢献と生きがいを得させていただいた「シルバー人材センター」に感謝し、利用者様の更なる満足を得られるようこれからも日々研鑽していきたいと思えます。

会員 福原 史朗



『ドライバーで就業して』

オレンジゆずるタクシーのドライバーになって5年目になります。どちらかといえば、人見知りする私がかこまでやってこれたのは和気あいあいの雰囲気と何でも教えてくれる優しい諸先輩方のおかげでしょうか。

全国でも珍しいと言われるこの福祉タクシー事業は、国交省の研修のみで介護の資格も2種免許も必要ありません。普通免許の私でも出来るかも、と始めたこの仕事でしたが毎日楽しく、お客様の感謝の言葉がまた励みとなり今日までやってこれました。

お体の不自由なお客様に寄り添い、何より安全運転!をモットーに年中無休、ゆずるタクシーは今日も走っていますよ。

会員 稲田 英司

『オレンジゆずるタクシーの1年間』

私の年齢1950年生まれでは、4人に1人が2025年には後期高齢者。前職製薬メーカーの営業をしており69歳で退職。社会貢献のためと思い、もみじだよりを見て会員登録をしました。本音は、家内の家におられては困ると言う気持ちを察知してですが。

最初は、老健施設の自動車運転業務なども勧められましたが、希望した職種は「オレンジゆずるタクシー」でした。タイミング良く69歳でしたので、希望のとおり就業でき満足しております。

研修が3カ月ほど有り少し長い気がしました。実務においては、先輩ドライバー、運行管理、オペレーターの方々に応援していただき無事1年が経ちました。

ドライバー全員、お客様のことを一番と考えて運行いたしておりますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

会員 今井 正雄



『ふれあい農園事業』

市内の休耕状態となつてゐる土地をお借りして、季節に応じた野菜や花等を栽培し、農園を運営している事業です。現在、市内4カ所の休耕地で作業に取り組んでいただいています。作業は、日の昇らない朝早くから始まり、種まき、水遣り、収穫作業など現場での作業は少なくありません。

現場の作業がひと段落すると、次はその足で収穫した野菜の販売をするため、シルバー人材センター事務所へ向かいます。収穫した野菜を運搬する方、センター到着後の野菜を仕分け・袋詰め・値札付け等の役割に分かれて販売のための準備をします。毎週月・水・金曜日の午前10時からシルバー人材センター事務所の1階で、栽培した無農薬野菜の販売を行っています。季節や時期によって、野菜の種類は違いますが、早い時には販売から1時間足らずで完売してしまうこともあります。

野菜の栽培だけではなく、収穫体験も行っており、収穫体験に来られた方との交流では、これまでに培ってきた野菜に関する知識が活かれます。その他に、農園近くの幼稚園などからも園児が収穫体験に来られることもあり、その時には農園にたくさんの子どもの声が溢れ、とても賑やかになります。そんな農園事業で現在就業している福元会員にお話を伺いました。

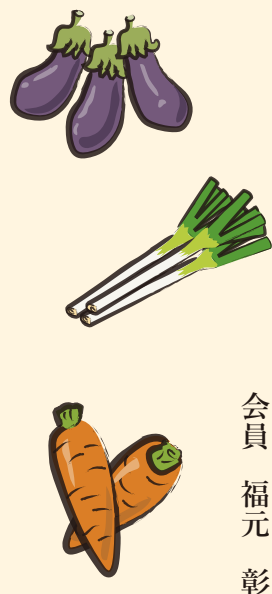


『シルバー農園事業のいま』

箕面市シルバー人材センターが農園事業に取り組んで、ほぼ7年が経過します。現在15名の会員が、4カ所の農園で野菜の栽培に取り組んでいます。暑い中、寒い中での農作業は高齢会員にとっては大変な作業です。しかし、自然の中で土に触れ、皆が協力し合つて野菜を育て、収穫した時の喜びは何ものにも代えがたいものがあります。収穫した野菜は、月・水・金の週3回センター入り口で販売し、地域住民や会員の皆様に喜ばれています。「この前買った野菜はとても美味しかったよ。」の声をいただくと、それまでの苦労が報われる思いです。

また、農園では収穫体験も実施しています。家族連れ、幼稚園、障がい者施設の方々が来園されます。特に、幼稚園児の芋ほり体験では、「すごい！すごい！」「穫ったぞ！」の感動の声が響きわたります。これもまた農園就業会員の喜びの一つです。

農園事業は利益の出ない厳しい事業ですが、こうした活動を通じて、地域に貢献するシルバー人材センターを目指します。



会員 福元 彰



収穫体験での様子



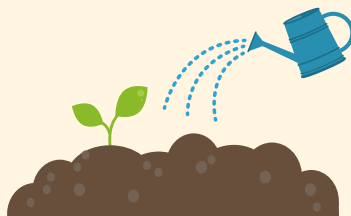
販売の様子



農園作業風景



桜ヶ丘幼稚園の園児による芋ほり体験
(写真提供：フォトスタジオ gift)



収穫前の農園風景

『子ども一時預かり事業』

ちよこつと保育「あそびー」・「まみーず」は、子育て中の保護者の方が、気軽にお子さんを預けることができる一時保育サービスです。ランチやショッピングなどちょっとした時間に預けたいなど、ご自身の都合に合わせてご利用いただくことが出来ます。預けていただけるのは、1歳6か月～未就学児までのお子さんが対象となります。

「あそびー」は、箕面文化・交流センター6階で、月・水・金曜日の午前9時～午後5時までの間、会員11名、保育士3名体制で子ども一時預かりをしています。最大8時間まで預かることが出来ます。

「まみーず」は、箕面市立小野原多世代地域交流センターで、火・木曜日の午前9時～午後5時までの間、会員9名、保育士1名で子ども一時預かりをしています。

「あそびー」・「まみーず」どちらも利用予定日の1カ月前～前日に電話または施設の窓口へお申し込みいただくか、当日の申し込みでも、空きがあれば利用していただくことは可能です。「あそびー」・「まみーず」それぞれで就業している方にお話をお聞きしました。



『子ども一時預かりに就業して』

子ども一時預かりの「まみーず」です。私たち9人で保育士さんのサポートを頂きながら、火曜日・木曜日に活動を行っています。お買い物・病院・ちよつと息抜きにと、忙しいママのお手伝いが出来ればと思っています。1～3歳中心の子どもさんと一緒に、お歌・ゲーム・工作等童心に返って楽しんでいます。また、年に一度の大イベント「クリスマス会」を行っています。知恵を振り絞って、会員一丸となって取り組んでいます。子どもさんの喜ぶ姿を夢見ながら楽しんでいます。高齢者が、このような機会を頂き生きがいに感じています。これからも頑張っていきたいと思っています。

会員 島村 なをみ

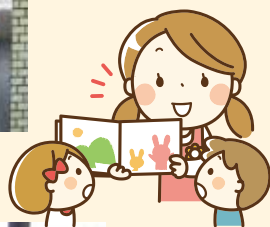
『あそびーで就業して』

市立箕面文化・交流センター（みのおサンプラザ）1号館6階で、月・水・金曜日に1歳半から5歳までのお子様をお預かりしています。お預かりする時間は4時間位なのであつと言う間です。初めて利用されるお子さんの中には、泣いているお子さんもいますが、10分位「大丈夫よ」と抱っこしていたら、泣き止んでおもちゃで遊び出します。自動車、電車、ブロックなどが好きなお子さんであれば、本や紙芝居が好きで膝の上に座って「読んで」と来るお子さんなど、みんなそれぞれとても可愛いです。楽しくやりがいのある仕事です。

会員 山崎 咲由美



「まみーず」の様子



「あそびー」の様子

『労働者派遣事業』

シルバー人材センターがお引き受けする仕事で、請負または委任として取り扱えないもの(指揮命令のある仕事、派遣先企業側の労働者との混在作業)については、労働者派遣事業として取り扱っています。

この労働者派遣事業では、都道府県シルバー人材センター連合会が派遣事業主となり、各市町村のシルバー人材センターはその実施事務所となります。その「雇用する」派遣登録された会員を、仕事を依頼した派遣先企業の元へ派遣することになります。

派遣元である大阪府シルバー人材センター協議会(大シ協)と派遣登録された会員の間には雇用関係があります。そのため、派遣先企業は派遣された会員に指揮命令が出来ます。

センターは、仕事に適任であると思われる派遣登録会員に、仕事内容・就業時間・賃金等の就業条件を就業案件明示書で示し、派遣登録会員はセンターからの仕事の依頼を承諾する場合、派遣就業同意書にて承諾の意思を示します。

派遣先企業は、大シ協に派遣会員の月々の勤務実績を通知し、大シ協は派遣先企業にこの通知に基づき派遣料を請求します。派遣先企業は大シ協に月々の派遣料を支払い、大シ協から派遣会員に賃金として支払われます。

当センターでも、労働者派遣事業の実績が増えてきているなか、実際に派遣会員として就業している方にお話をお聞きました。

『2年就労で思っていること』

私の仕事内容は、スーパーマーケットの青果加工を担当しております。例えば、キュウリ、玉葱、リンゴ、ミカン、柿などの袋詰めです。スピーディーに体裁よく、商品を選別しながら、袋詰めする様努めております。

他に大量のダンボールと生ゴミを狭い通路を通ってゴミ置き場へ運びます。

狭い加工作業場では、店の重要な品出しをする社員が出入りし易い様に、通路の確保などを常に心掛けております。

前の会社を定年退職して、6年ぶりの仕事に就き、初めての職種なので務まるか不安でした。

毎年、センターから就業中の接遇・マナーの心得のための教育訓練テキストを貰います。

テキストを読みまして、マナー次第で多方面に影響を及ぼす事とセンターの会員であることを改めて自覚し、責任ある行動をしなければならぬと思いました。

私は絵を描くことが好きで、季節ごとのお勧め商品のポスターを制作して、売り場で掲示させて貰っています。

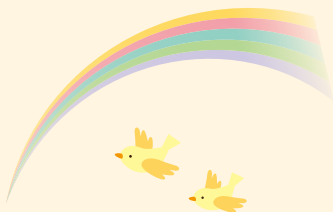
お陰様で、充実した日々を送っています。

会員 石坂 憲治

当センターでは、他にもたくさんの仕事を派遣事業で受けています。

【就業内容一覧】

- ◎ 布団カバー、シーツ、等のリネン回収業務
- ◎ ホームセンター関連
 - ・ 木材加工(売り場整理、木材カット、販売補助等) 業務
 - ・ 園芸管理(花売り場の整理、手入れ、販売補助等) 業務
- ◎ 保育補助業務
- ◎ 調理補助、厨房調理補助、食器洗浄業務
- ◎ 駐車場管理(駐車場集金補助等) 業務
- ◎ 倉庫内仕分け(段ボール箱の組み立て、整理) 業務
- ◎ 清掃(事業所屋内外、庁舎、敷地内等) 業務
- ◎ スーパー関連
 - ・ ベーカリー部門の仕込み、片付け業務
 - ・ 商品の荷受け、検品、品出し等業務
 - ・ 水産部門商品の加工、品出し、調理等業務
 - ・ 農産物、青果、グロッサリ部門等の品出し業務
 - ・ 惣菜、デリカ部門等の製造・品出し・加工等業務
 - ・ カート・カゴ回収整理、リサイクルBOXの整理等
- ◎ 事務(一般経理、総務事務等)
- ◎ 施設管理(窓口受付、貸館受付対応等) 業務
- ◎ 運転(利用者送迎車両の運転) 業務



『受託事業』

請負・委任契約で受注している仕事の中から、今回は「気軽にサポート隊」と「パソコン教室」について、それぞれ就業している方にお話をお聞きしました。

『気軽にサポート隊の活動について』

2017年5月に入会させて頂き、早や3年半が過ぎ、光陰矢の如しの諺通り月日の流れに驚くばかりです。

「気軽にサポート隊」の作業内容は、一人で出来る扉の鍵の交換や窓の拭き掃除などの小さな仕事から、大物の食器棚や箆筒類、エレクター等の4～5名で行う大物の搬出まで多種多様な仕事があります。

また、不用品の搬出依頼があれば、その都度下見に赴き、大型ごみ扱いか臨時収集扱いにするかを依頼者様とご相談させて頂きます。大型ごみ扱いとされる時は、収集日の午前8時には搬出を行います。

また、臨時収集扱いとされる時は、搬出日、時間及び作業員の数の決定後、クリーンセンターへ臨時収集日の可否の確認とその搬出量の連絡を行います。

近年は、家電リサイクル法の絡みもあり、対象品目の確認後、リサイクル券の購入方法などを説明します。

下見後、担当者に作業日時及び必要人員を報告し、作業当日の人員の確保をお願いします。搬出日当日は、天候に左右される事なく作業を行います。

午前中に搬出作業を行い、クリーンセンターの臨時収集は当日の午後に行います。箆筒等の大型のものは、依頼者の搬出費用が掛かると同時に、嵩張るためクリーンセンターのトラックの積み込みが困難となるため、全て解体し回収をしております。

この際だからと下見時に伺った搬出量と実際の搬出量が大幅に増えていることが発生し、「え〜っ増える」と思うことが度々あります。

特に、5階以下の住宅には殆どエレベーター設備が設置されていないため、階段を何度も往復して不用品を運び出すときは体力の限界を感じます。特に夏場は厳しいものがあります。

作業終了後に、依頼者様より「ありがとう、助かったわ」と労いの言葉を頂いたときは作業をさせて頂いて本当に良かったなと思います。

会員 本間 友二



搬出作業の様子



『パソコン教室について』

このパソコン教室は、教室というより個別指導塾あるいは個人相談会のようなもので、受講者一人ずつに合わせた、受講者の希望に沿った内容になっています。

内容は、ワード、エクセル、デジカメ取込、映像編集、年賀状作成、確定申告、インターネット活用、スマホ操作、トラブル対応など多種多様です。受講者は、一回きりの方、年数回の方、毎月1～2回定期受講の方など様々です。年代は、ほとんどが60歳代以上ですが、私の担当している受講者の中には、現在93歳の女性が毎月受講されております。

会員 土屋 富雄



マンツーマンによる個別指導



ビニールカーテン設置による感染予防



センター入り口への自動体温測定器の設置

新型コロナウイルスの感染が拡大している中で、当センターといたしましても、会員・発注者の皆様に安心してセンターを訪れていただけるよう新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでさまざまな取り組みを実施して参りました。手始めに、事務所窓口（カウンター）にビニールカーテンの設置、センター建物内に消毒液の設置を実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか減らない状況を受けて、次にセンター正面玄関前の階段横へ自動体温測定器の設置やセンター事務所の入り口を一ヶ所に制限するなどの対応を実施しました。現時点で出来る限りの対応を実施させていただいておりますが、引き続きセンターご来訪の際にはマスク着用、手指消毒等皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについて

事務局からのお知らせ

事務局より、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のご報告と、各職員が担当している事務分担表をご紹介します。

事務分担表



白川次長

- 福祉有償運送事業関係
- 職種班関係
- 補助金
- 予算・決算関係
- 適正就業員会・安全対策委員会



奥田主任

- 屋外作業班（公共）
- ファミリーサポート事業
- シルバー組織関係
- 会員互助会関係



橋本

- 屋外作業班（個人家庭・民間）
- 子ども一時預かり事業
- 介護保険事業関係
- 地域班関係



矢野

- 経理関係
- 理容室
- 体験型教室事業
- 女性会関係



原田

- 施設管理（学校関係）
- 手内職・刃物研ぎ
- 筆耕



平石

- 施設管理（公民施設）
- 駐車場・駐輪場関係
屋内作業（民間）
- 一般経理・調査事務



飯田

- 屋内作業（公共）
- 広報誌等の配布
- 気軽にサポート隊
- 大工・ペンキ
- 農園事業



中西

- 植木剪定
- 緑のリサイクル事業
- 経理補助



山崎

- 福祉家事サービス
- 和裁・洋裁リフォーム
- 襖・障子張替え
- ファミリーサポート事業



吉木

- 労働者派遣事業
- 有料職業紹介事業
- 就業開拓活動



七里



進村

- 介護保険事業
- 介護予防日常生活支援総合事業

同好会紹介

現在12の同好会があり、それぞれ自主的に活動をされています。

今後の新たな試みとして、ダーツ同好会や女性の麻雀同好会を発足させてみようという計画です。今後の動向等については、互助会だよりで順次お知らせ致します。

歩こう会



連絡先：川上 (723-7338)

囲碁同好会



連絡先：小野 (721-0941)

ボウリング同好会



連絡先：岡 (725-8516)

みちづれ会 (旅行同好会)



連絡先：松原 (722-1449)

卓友会 (麻雀同好会)



連絡先：岡 (725-8516)

クラフト同好会



連絡先：丸尾 (725-8516)

MS ゴルフ同好会



連絡先：国塩 (729-1246)

パソコン同好会



連絡先：宮沢 (728-9680)

写真同好会



連絡先：住田 (724-1486)

卓球同好会 (ピンポン)



連絡先：谷 (729-4706)

書道同好会



連絡先：松村 (723-4661)

カラオケ同好会



連絡先：井須 (723-4661)

同好会への入会方法や活動の詳細等ご興味のある方については、各同好会の幹事へ直接お問い合わせ下さい。

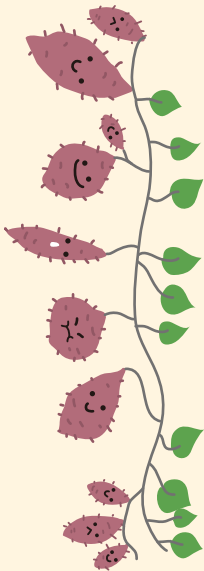
新型コロナウイルスの感染拡大が拡がり、イベントが次々に中止となる中で、女性会による「芋ほり」体験と会員互助会の「ちよっとお出かけ」事業がそれぞれ実施されました。参加していただいた方にお話をお聞きました。

女性会 『芋ほり』

『女性会「芋ほり」体験に参加して』

令和2年10月22日、女性会の「芋ほり」に行ってきました。お天気が心配でしたが、みなさんのおこないが良かったのか、雨にあわず楽しい半日でした。私は、畑にも入ったことがないし、芋ほりが初めての経験で、一つのつるから大きいものや小さいもの、たくさんつらなっているものにびっくりしました。終わったら、みなさんでお弁当を食べながら和気あいあいとお話しながら楽しかったです。芋は掘ったら新聞紙に包んで1週間ほどおいて食べたら甘味が出て、とてもおいしかったです。

会員 寺本 フミ子



楽しい昼食のひとつ



参加者全員で集合写真



童心にかえって芋ほり中

会員互助会 『ちよっとお出かけ』

『ちよっとお出かけ』

「太陽の塔」に参加して

今年の9月に入会させて頂きました。令和2年10月29日、初めてのイベント『ちよっとお出かけ』『太陽の塔』に参加させて頂き、初めは皆さんにお会いするまで不安でしたが、皆さんから声を掛けてもらいホッとしました。最初、階段が140段と聞き、膝が悪く不安でしたが、皆さんと一緒に昇り降りが出来ました。

「太陽の塔」は、外見からは何度も見ましたが、内部を見学出来たことにより、これからは「太陽の塔」を見かけたら、内部の様子も思い出せるので良かったです。

昼食は、雄大なコスモス畑の前に、天気も良く皆さんと一緒に美味しく頂きました。

一日が楽しく、ストレス解消になりました。この年になれば、皆さんと出掛けるのが少なくなり、これからはなるべくイベント等に参加させて頂きたいです。有難うございました。

会員 浅井 明美



コスモス畑での集合写真



内部見学前の様子



会員自慢話

さまざまな趣味や特技などをお持ちの会員の皆様の中から、「これは自慢できる!」という話を募集しました。お一人の方からそれぞれお話をお聞きしました。

「日曜大工」

私の一番の趣味は日曜大工です。50年ほど前に始めてから、徐々に道具をそろえ、今も続いています。

日曜大工は木材を使うので、手軽に何でも好きな物を作ることができる魅力があります。最近は、歯車を使った木工からくりおもちゃにはまっており、その作品を皆さんに自慢しています。

一部を紹介します。写真①は「ビー玉ころころ」と命名、ハンドルを回せば次々とビー玉が現れ、傾斜面をころがりながら落ちていきます。その挙動が実に面白い。どのようになっているか(上に戻っていくか)、写真から想像してください。

写真②は「メリーゴーランド」。ハンドルを回せば6頭の馬が回転(自転と公転)しながら、更に上下運動します。私の中では、最も苦勞して作った傑作おもちゃです。

また、この趣味が高じて、小形クラシックギター作りに挑戦しました。初めてでしたが素朴な音色が大変気に入り、毎日弾いています。数年前の会員作品展に出品し、皆さんの前で何回か演奏させていただきました(写真③)。日曜大工の趣味は一生続けるつもりです。

会員 西部 邦彦



写真③「手作りギターによる演奏」



写真②「メリーゴーランド」



写真①「ビー玉ころころ」

「東洋蘭」

東洋蘭の話です。

父親が花好きの影響で、裏山に自生の春蘭を採取し栽培しているうち(この期間は10年以上)に名銘品の富貴蘭、春蘭、寒蘭に出会い、その中でも東洋蘭専門店で見えた寒蘭の花色、花型、芳香に感激し脳裏から離れなくなっていました。

小さい頃は、ハトを飼育し、学生時代は体育会系の部活で汗を流しながら熱帯魚を飼い、小鳥を捕まえては飼育し、社会人になってからはゴルフ、クレール射撃、その中で蘭が一步步へ出たのです。

ここまで40年以上蘭に没頭できているのは、同じ趣味を持つ兄が、私も入会している「なにわ蘭友会」の寒蘭展示会で「総合優勝」を2回もした事が大きな要因です。

その事実は、自分にも可能かもしれないと思い、春夏秋冬の温度管理と光線量、肥料、消毒(殺虫、殺菌)植替え等を先輩方にご指導を戴いたおかげで毎年「咲くやこの花館」で開催の寒蘭展示会で「総合優勝」を一昨年从今年まで3回連続で受賞出来ました。

総合優勝にはルールが有り、同一人が同じ銘柄品で連続して成せません。

今年の優勝は、「四万十川の誉」で土佐産です。

箕面市シルバー人材センター剪定班にお世話になってもう7年。剪定も蘭も長く続けることで質の高いものを生み出すことができると思います。

私がこのような東洋蘭に傾注出来るのは、家族の理解とシルバーのおかげです。

剪定班会員の平均年齢が高齢化してきており、若い会員の入会を募っていますので、興味のある方は是非事務局まで申し出てくださいます。一緒に楽しく剪定しましょう。

会員 西村 和久



作品「四万十川の誉」



優勝作品と記念撮影